

本能寺の変

『古民家でお茶しながら甲冑武将と伊賀越え』

天正10年(1582) 6月2日早暁

光秀：謀反を起こす **信長**：本能寺に宿泊中、襲われ、四十九年の人生を終える

家康：上方遊覧が終わり、御礼言上のため、堺の妙國寺を発ち京都へ向かう河内飯盛山付近でこの変報を受ける

家康一行：軍勢もなく平服、34名 酒井忠次、石川数正、本多正信、**本多忠勝**、榊原康政、井伊直政、天野康景、大久保忠佐・忠隣、高力清長、**服部半蔵**、渡辺半蔵、鳥居忠政、長田伝八郎 等

長谷川秀一 上方遊覧案内役 **茶屋四郎次郎** 京都から急ぎ変報を届けた側用人

穴山梅雪 家康従者となった駿河江尻城主

伊賀越えの概要

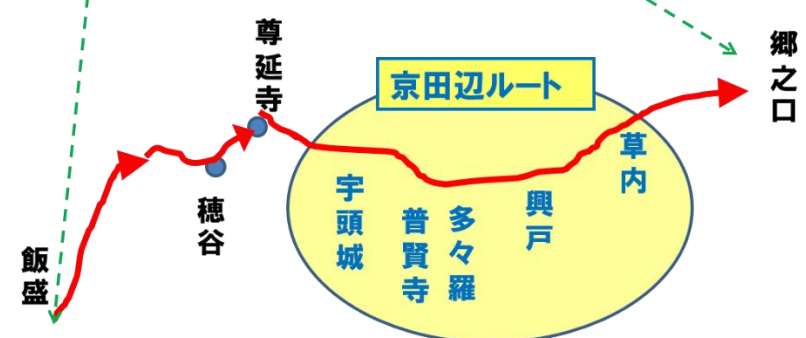
天正10年6月2～4日 全行程 210 km

「神君伊賀越え」 **家康一行**:三日間の**逃走ドラマ** 苦難の道中、襲撃、協力者・道案内人

飯盛山～尊延寺～京田辺～宇治田原～伊賀～白子～岡崎

謎の京田辺:多数ある逃走ルート

梅雪:主従12名は別行動を取り、家康一行の後で、木津川にさしかかり、飯岡渡し付近で土民の襲撃を受け自害



主な出来事・経過

月日	時刻	出来事	場所	
6月 2日	4時	本能寺の変が起こる		
	5時	家康、信長に上方遊覧の御礼に、京都に向かう	堺、平野、八尾	
	12時	茶屋四朗次郎、本多忠勝に「信長自刃」を報告	交野	
	14時	忠勝、家康に変を伝える	飯盛西麓	旧住吉神社
	16時	伊賀越えて三河に帰ることを決め出発	茶屋: 銀子、本多: 蜻蛉切り槍	伊賀ルートを選択 (服部半蔵)
		長谷川秀一: 恩顧者に連絡、道案内を依頼	星田、倉治	河内、宇治田原、 信楽、大和
	20時	普賢寺の百姓新八と出会う 穂谷白井家: 夕食・休息	穂谷	家康: 山中道に迷い 百姓と知り、安心し 身分を明かす
6月 3日	3時 ～	新八、穂谷の百姓忍兵衛の案内を受け草内の 渡しまで	尊延寺 宇頭城、普賢寺 多々羅・興戸、草内渡し場	家康 証文を授かる
	8時	飯岡 小山太郎左衛門政清らに助けられ、 木津川を舟で渡る	木津川 (増水中)	九寸ヒ首を授かる
	10時	新主膳正末景、市野辺出雲守 奥田仁義らが出迎え、宇治田原山口城へ	市辺、青谷、 郷之口	山口城主 山口甚介秀康

穴山梅雪

■甲斐武田家武将：武田信君

母：信玄の姉 南松院 正室：信玄の三女 見性院(勝頼の姉)

■天正10年2月 信長、家康は武田征伐を進める

梅雪、家康を介し信長に帰順を決意 ※信玄亡き後、勝頼と不仲、老臣の横暴さを憎む
条件 ①武田家の継承 ②甲斐の領土の確保

■3月 家康を案内し、[天目山の戦い]で勝頼が滅亡

■6月本能寺の変後、甲斐に帰ろうとしたが、家康とは一緒に逃走

※甲斐の領土所有、金品を多く持っていた梅雪は、家康従者に強奪を恐れ、徐々に家康から離れる (殿:しんがり)

■梅雪一行は、落ち武者狩りの土民に襲撃されて、川は増水、渡るのが困難となり、木津川飯岡の渡しで自害

■土地の人々が憐れみ飯岡の渡し西岸に葬り塔を築いて供養を行うが洪水で崩れるので、飯岡蓮華寺に改葬し塔を移す

■明治8年2月蓮華寺は廃寺となり現在の飯岡共同墓地へ塔を移す



「伊賀越え」の成功要因

情報伝達力

組織力
迅速性
一足先情報

状況判断力

冷静沈着
大胆
慎重

性格

大らか、大胆
用意周到
慎重、実直
用心深さ
忍耐強さ

リーダーシップ

危機に力を発揮
人のこころ掌握
恩義の大切さ

家康の人間性

人心掌握力

家臣との相互信頼
恩義を大切に

人に仕える、人質
失敗、苦難経験



人の一生とは重き荷を負うて
遠き道を行くが如し

協力体制

道案内人

- ・茶屋四郎次郎(銀子)
- ・長谷川秀一
(人的ネットワーク)
- ・集落の村長、村人、人夫
- ・甲賀(多羅尾光俊)
- ・伊賀忍者(服部半蔵)

身代わり

影武者
穴山梅雪

組織力

無駄のなさ
実利、協調力
末永く泰平を

健康

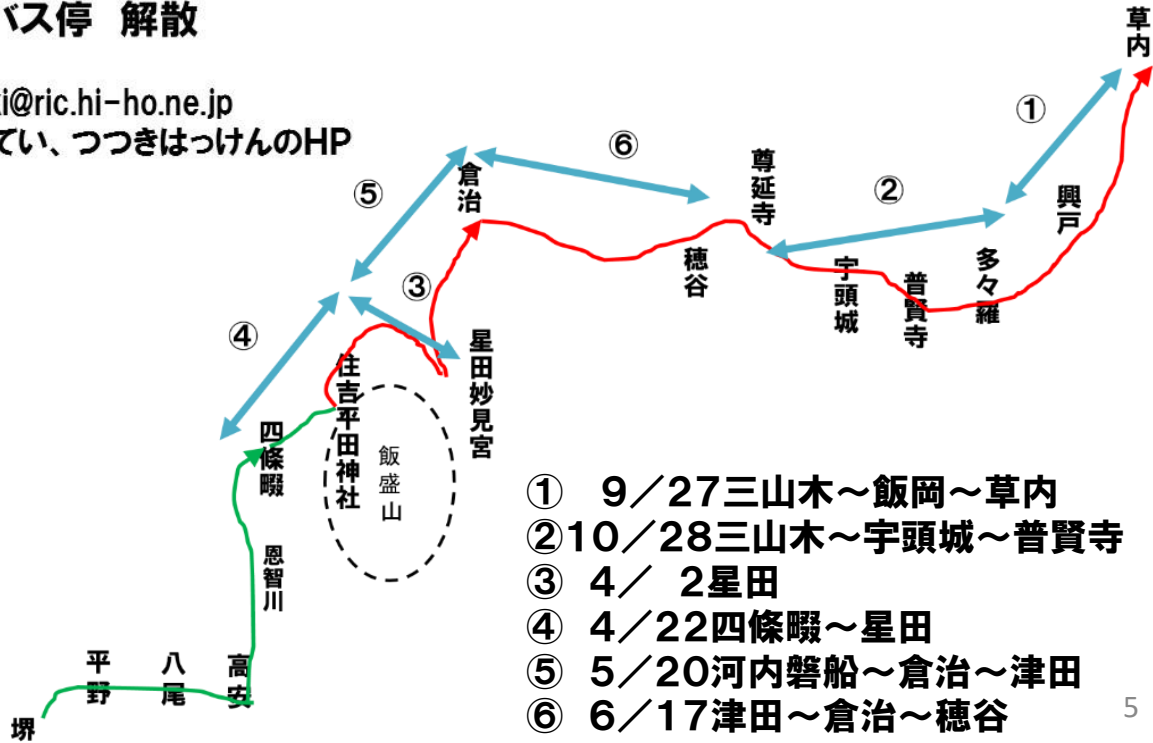
剣術で鍛える
粗食、質素儉約
医薬調合

神君伊賀越えシリーズ（平成29年前半）のスケジュール

- 4/2(日) 「伊賀越え③星田の花見と家康」ウォーク
妙見桜、大坂夏の陣宿営の碑、ひそみの藪、妙見宮
9時:JR星田駅 集合 (無料)
- 4/22(土) 「伊賀越え④四條畷～星田」ウォーク
四條畷神社、住吉平田神社、和田賢秀の墓、
歴史民俗資料館、東高野街道
9時:JR四條畷駅 集合
- 5/20(土) 「伊賀越え⑤河内磐船～倉治～津田」ウォーク
住吉神社、かいがけの道、源氏の滝、機物神社
9時:JR河内磐船駅 集合
- 6/17(土) 「伊賀越え⑥津田～倉治～穂谷」ウォーク
白旗池、いきものセンター、国見山、枚方野外センター
9時:JR津田駅 集合 穂谷バス停 解散



■ 申込必要 080-3134-8662 (伊藤)、dontuki@ric.hi-ho.ne.jp
案内募集 JRふれあいハイク、京都新聞、ぐってい、つつきはっけんのHP
参加費 300円



- ① 9/27三山木～飯岡～草内
- ② 10/28三山木～宇頭城～普賢寺
- ③ 4/2星田
- ④ 4/22四條畷～星田
- ⑤ 5/20河内磐船～倉治～津田
- ⑥ 6/17津田～倉治～穂谷

- ① 鉾立の松
- ② 不違の池
- ③ 鉾立の杉
- ④ 南山義塾跡
- ⑤ 南山城跡
- ⑥ 南山遺跡
- ⑦ 大南山
- ⑧ 日本最初外国蚕飼育跡
- ⑨ 近衛基通公御廟
- ⑩ 田宮の館
- ⑪ 伊藤若冲屋敷跡
- ⑫ 筒城宮跡
- ⑬ 観音寺

